

1

ばんどう未来ビジョンとは

2005（平成 17）年 3 月 22 日の岩井市・猿島町の合併を受け、坂東市では 2006（平成 18）年度に「坂東市総合計画 2007-2016」を策定しました。この坂東市総合計画では、「人と自然がおりなす 活力・安心・協働に満ちた坂東市」を将来像として、これまで、社会情勢の変化に対応しながら、市民、地域、企業、行政の協働によるまちづくりを進めてきました。

また、2012（平成 24）年度からの後期基本計画では、「安全・安心・協働のまちづくりプロジェクト」、「坂東っ子育成支援プロジェクト」、「活力・にぎわい創生プロジェクト」を軸に戦略的にまちづくりを進めてきました。

2016（平成 28）年 3 月には、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を受け、「坂東市人口ビジョン」及び「坂東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「本市における安定した雇用の創出」、「本市への新しいひとの流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する」の 4 つの基本目標を掲げ、「地方創生」に向けた各種施策を推進しているところです。

わが国で急速に進展している人口減少は、坂東市においても深刻な問題となっています。地域コミュニティを維持し、本市を持続的に発展させていくためにも、人口減少問題は克服すべき最重要課題となっています。長期的な展望のもとで、人口減少問題をはじめとする様々な課題に対応し、将来に向けて希望の持てるまちづくりを行うため、これからの坂東市の最上位計画として、目指す方向性を示すもの、それが「ばんどう未来ビジョン」です。